

8、9、10、11 日に仮設住宅で無料バザー 合計 900 人に支援物資をお届け

9日から11日の四日間、日本共産党震災・救援対策センターは、石巻、女川の仮設住宅に支援物資の無料バザーをおこないました。また、要望が寄せられた個人住宅の床下の泥出しボランティアも行ないました。



大橋 8日 仮設住宅の寒さ対策を



東京、静岡、神奈川、愛知のみなさん

55人で、大橋仮設で無料バザーを行いました。約320名の方々にお米600キロ、ジャガイモなどの食料をお持ち帰りいただきました。

住民の方からは「(仮設住宅は)寒いので二重サッシにして欲しい」「ストーブが欲しい」「ラーメンどんぶりが欲しい。これから寒くなるのでラーメンやうどんが食べたい」など寒さ対策や冬支度の要望が多数寄せら

れました。「洋服が流されてしまってなにもない」などと、まだまだ日常生活に必要な衣食住に事欠いている実態が浮き彫りになりました。

水押野球場 9日 大勢のボランティアに感動

東京の45人で、水押野球場仮設住宅での無料バザーを行ない約190名の方々に届けをしました。住民の方々からは「寒い。暖房器具が欲しい」「共産党のボランティアが何度も来てくれて大変ありがたい」など要望、感想が寄せられました。ボランティアの方からは「ボランティアが大勢来ることに感動を覚えた。共産党の呼びかけに善意が集まる姿がそこにある」と感想を述べています。



牡鹿半島小湊浜 10日 朝晩寒い

宇都宮、東京、神奈川、千葉の85人で牡鹿半島小湊浜の無料バザーを実施。支援物資のお届けと一緒に栃木県宇都宮の業者のみなさんがおでん、川崎・溝の口の居酒屋「茂々」がおこわと煮物の炊き出しを行い、約180名の方々に届けをしました。住民の方から「朝晩寒いので石油ストーブが欲しい」などの声が寄せられました。仮設住宅の寒さ対策はどこでも切実です。

女川町運動公園 11日 原発地元でも原発撤退の声が広がる

東京・葛飾、千葉の30人で女川町運動公園仮設住宅で無料バザー。200名の方々に支援物資をお届けしました。住民の皆さんに原発ゼロ署名へのご協力をお願いすると多くの方が署名をしてくれました。原発の撤退の世論が原発の地元でも確実に広がっています。ボランティアの方は「本当に喜んでくれてその顔が何よりもうれしかった。できることで長く支援してゆきたい」と活動に参加した感想を寄せています。

移転しました！

#84

救援・復興！
ボランティアニュース

2011年10月14日
発行：日本共産党 震災・救援対策センター
〒986-0815 石巻市南中里4 3 39
TEL：22-6335 FAX：22-6892